

3月11日を「防災教育と災害伝承の日」に

東日本大震災（2011年3月11日発生）から10年を迎えようとしています。大震災では2万人を超える尊い命が奪われ、人々に与えた衝撃は筆舌に尽くしがたく、10年たっても癒えるものではありません。

東日本大震災を契機として、防災教育と過去の災害から得られた教訓の伝承の重要性が確認されました。その後の災害対策基本法の改正で、この二つの言葉が初めて書き込まれ、学習指導要領でも防災教育の内容がさらに充実したものとなりました。

自然災害が多発する我が国においては、これらのテーマを国民全体のものとして受け止め、東日本大震災だけに留まらず、各地の取り組みを共有し、防災教育と災害伝承の活動を一層強化することが求められています。

そこで私たちは、防災教育と災害伝承の重要性を改めて深く認識することになった東日本大震災の様々な出来事と教訓を忘れないために、慰霊の思いも込め、3月11日を「防災教育と災害伝承の日」とすることを提唱するとともに、防災教育と災害伝承活動のさらなる実践を全国によびかけるものです。

2021年2月13日

よびかけ人

共同代表 今村文彦 東北大学災害科学国際研究所所長・教授
共同代表 戸田芳雄 日本安全教育学会理事長
河田恵昭 阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター長
林 春男 防災教育チャレンジプラン実行委員会委員長
平田 直 一般社団法人防災教育普及協会会長
松浦律子 歴史地震研究会会長

五十音順

以 上

ホームページ(専用ページ)

ホームページにて個人・団体の賛同者の登録受付中

URL: <https://www.bousai-edu.jp/saigai-denshou>